

# 石川県防災会議（議事要旨）

## 1 日時

平成24年5月18日（金）13時30分から14時10分

## 2 場所

石川県庁行政庁舎 11階 1105会議室

## 3 出席者

防災会議会長（谷本知事）ほか委員51人

## 4 議題

- ① 石川県地域防災計画の修正（案）について
- ② 平成24年度石川県水防計画（案）について

## 5 議事要旨

### (1) 議事概要

会長（谷本石川県知事）のあいさつに続き、会長が議長となって議事に入った。

議題①「石川県地域防災計画の修正（案）について」、議題②「平成24年度石川県水防計画（案）について」について、事務局から説明し、質疑応答の後、原案のとおり承認された。

### (2) 質疑応答の要旨

#### ・ 意見：石川県町長会会長（代理）

今回の地域防災計画見直しで、県は新たに津波災害対策編を新設し、津波対策の充実強化を図られた。今後市町の方でも避難路の整備や防災士の育成などを進めていく必要があるが、ぜひとも県の指導や助言をお願いしたい。

#### ・ 回答：会長（谷本知事）

今回の津波浸水想定に当たっては、石川県周辺の活断層で想定しうるものはすべて拾い出したうえで、すべての断層が連動し、かつ垂直方向にずれるという、最悪のケースを想定しており、これを受けて、とにかく高いところに逃げるという意識を徹底する必要があるとともに、防災士の計画的な育成を通じて、地域全体で情報を共有し、きめ細やかな対応を可能にすることも重要である。また、様々な防災訓練等を通じて、計画の実効性を高めていかなければならないと思っている。

#### ・ 意見：石川県消防長会会長（代理）

一般災害対策編及び雪害対策編の主な見直し内容として、昨年12月に、大雪注意報、大雪警報の発令基準を「24時間の降雪の深さ」から「12時間の降雪の深さ」に変更された旨ご説明があったが、この変更により、これまで以上に大雪警報が出される可能性があるのではないかとと思っている。この変更に至った経緯と、昨年度の発令実績を教えて欲しい。

#### ・ 回答：金沢地方气象台（木平台長）

県内の関係機関の方々に、より迅速に適切な対応をとっていただくことを念頭に、近年の交通網の急速な整備等社会環境の変化に応じて、交通に与える影響や、災害と降雪の関係について検討した結果として、時間間隔を短くしたうえ、基準値を変更したものである。また、警報は過去10年間で、年平均1回～3回程度の頻度で発表しており、昨年度の実績としては、概ね1～2回程度である。